



代表質問

令和8年度 富士宮施政のここが知りたい!!

代表質問について

毎年2月定例会に行われる、次年度の市長施政方針（※）の内容に対して、議会各会派から選ばれた議員1人が代表して質疑を行うことです。

富士宮市議会令和8年2月定例会では、5つの会派と、無会派から合計6人の議員が、各々の会派等を代表して質疑しました。

※ 施政方針（しせいほうしん）

次年度（今回の場合は、令和8年度）の基本方針や政策についての姿勢を示すため、市の長として行う方針演説のことです。

今回の施政方針内容は、右の二次元バーコードから確認できます。



新たに開始する5歳児健康診査について

問 5歳児健診実施に向け、新たに開始する本市独自の方式の詳細を伺う。

部長 令和8年度から実施する5歳児健康診査は「Webシステムを利用した問診による1次健診、その結果支援が必要な子どもへの専門医師による2次健診」を行う方式により実施。県内でこの健診をとる自治体は少なく、特にWebシステムを使った問診を行うのは県内で本市だけである。対象者は年中に相当する年齢の幼児。生年月日で春と秋の2回に分けて実施する。



子育て世帯への経済的支援の充実について

問 子育て世帯への重点支援策は何か。

部長 0歳から18歳までのこどもの通院や入院時の医療費を助成するこども医療費助成事業の継続、不妊・不育症治療費助成額の引上げ、産後ケア事業及び子育て応援ヘルパー等派遣事業の利用対象年齢の拡大。新たな事業として5歳児健康診査を始め、食事の提供などを通してこどもの居場所づくりを行う団体等への事業費の一部支援により、こどもが安心して過ごせる居場所の安定的な確保と活動の充実を図る。